

令和4年度昇段審査等学科試験問題

剣道

段別	問	題
初段	1 問	「間合い」について説明しなさい。
	2 問	切り返しの目的と効果について述べなさい。
二段	1 問	「残心」について説明しなさい。
	2 問	「気剣体一致」について説明しなさい。
三段	1 問	剣道における「四戒」について説明しなさい。
	2 問	「打突の好機」について五つ以上述べよ。
四段	1 問	日本剣道形の「五つの構え」について説明しなさい。
	2 問	「打ち込み稽古」と「かかり稽古」の違いについて説明しなさい。
五段	1 問	日本剣道形の打太刀・仕太刀の関係を述べ「機を見て」・「入身になろうとする」について説明しなさい。
	2 問	剣道における「攻め、崩し」について述べなさい。
A 級 公認審判	1 問	審判員が「合議」を行う際の○主審が合議を要請する場合○副審が合議を要請する場合の宣告要領及び審判旗の所作について説明しなさい。
	2 問	「正しい鍔ぜり合い」について説明しなさい。
B・C級 公認審判	1 問	全剣連の定める審判法講習における重点事項について列記しなさい。
	2 問	有効打突の条件について説明しなさい。

居合道

段別	問	題
初段	1 問	あなたが居合道を始めた理由を述べなさい。
	2 問	全剣連居合一本目「前」について注意することを述べなさい。
二段	1 問	あなたの居合道修行の心構えと、安全について述べなさい。
	2 問	全剣連居合三本目「受け流し」の要義を記し、注意している点を述べなさい。
三段	1 問	あなたが居合道修行を続けて良かったと思うことを項目を上げて説明しなさい。
	2 問	全剣連居合四本目「柄当て」の要義を記し、注意している点を述べなさい。
四段	1 問	居合道指導者としての心構えを述べなさい。
	2 問	全剣連居合五本目「袈裟切り」の要義を記し、指導上注意する点を述べなさい。
五段	1 問	居合道指導上の要点を五つ挙げ説明しなさい。
	2 問	全剣連居合七本目「三方切り」の要義を記し、指導上注意する点を述べなさい。

杖道

段別	問	題
初段	1 問	杖道を始めた理由について述べなさい。
	2 問	杖道の構えについて述べなさい。
二段	1 問	杖道の修行で得るものについて述べなさい。
	2 問	太刀の構えについて述べなさい。
三段	1 問	道場における礼について述べなさい。
	2 問	形の重要性和その効果について述べなさい。
四・五段	1 問	広島県で受審、受審者で問い合わせして下さい。
	2 問	

学科試験は、剣道については日本剣道形、居合道・杖道、審判法については実技の合格者を対象に実施しますが、審査受付時に答案用紙を提出して下さい。

[注意]

○ 答案用紙は「B4版原稿用紙」を使用し、問題毎に原稿用紙1枚(200字以上400字未満)に自筆で記入して下さい。

※ 「B4版原稿用紙」を使用していない答案用紙が散見されます。必ず「B4版原稿用紙」を使用して下さい。

○ 答案用紙には1行目の書き出しに「受審段位等」、やや空けて「氏名」、2行目に「問題番号」を記入し、3行目から回答を記入して下さい。

※ 受験番号～受付係が記入するので、記入の必要無し。

※ 「受審段位等」・「氏名」・「問題番号」の記入漏れの無いよう注意して下さい。

※ ホッチキスで右上を閉じて下さい。